



Subaru

男声合唱団 ニュース №342 '12. 01. 05

新年あめでとうございます。

今年は「昂」倍増の年！頑張りましょう！

□プロジェクトチームの皆さん奮闘で「鼎ってどんなとこ?コンサート」めがけての活動が着々と進んでいます。今年はみんなの力を集めて、**80名の団**めざして一致協力でがんばりましょう。

2011. 5. 25 「昂・5月の風コンサート」



これで37名。あと2段増やして圧倒的な迫力の男声合唱を！！

星の嫁様

轟中はがきでご案内いたしましたように、新年のご挨拶はできませぬでしたが、今年もよろしくお願ひ申します。

さっそくですが、昨年最後のレッスンで口頭で少しお話しましたが、5度目の陸前高田訪問をすることになりました。

添付の「希望の灯よひかげ」と「希望の灯交流コンサート」のちらしをご覧ください。

支援コンサートで私たち自身が確信と感動を得たのは皆さん述べておられ、感想文集にもすてきな感想が多くでてくると思いますが、1回限りの支援で終わりとはせず、せっかく現地の人の「顔」が見えてきたので、私たちの経験から、現地の人が歌い始めるのが重要で、そのお手伝いをしようと企画しました。

手紙や電話のやりとりをしていて、少しづつ向こうの方たちの様子も分かってきました。

私のCDを欲しいといっていた松田美佐子さんも3人の震災遺児(孫)を引き取り、8人で仮設に住んでいるそうです。

山下さんに楽譜を頼まれた大塚和子さんは向こうでピアノの先生をされていて、合唱団も指導されていたのですが、既報のとおりで今もピアノに向かうと弾けないそうです。

しかしなんとか「まつぼっくり」団員十数名に呼びかけ、練習を再開されました。伝承館を下見に行ったり、ちらして宣伝もしてくれているようです。

海音ちゃんも楽しみにしていて出演と、村嶋由紀子と一緒に司会をすることになりました。

ふきのとうはジャンボさんの感動的報告のせいか、こちらからも呼びかけたら20名くらいで参加するそうです。

最初は神戸からの「希望の灯」の前で二人だけでも歌ってこようかといっていたのですが、ちょっとしたコンサートになりそうです。

前回行きたくても行けなかった人や、2度目の訪問でも行きたい方がいればどうぞお越しください。

- プログラム
- ・全体合唱
「私の好きなこの街」
指揮 檀美知生 ピアノ 及川慧子
 - 「陸前高田市民歌」
指揮 大塚和子 ピアノ 及川慧子
 - ・海音ちゃんと仲間たちの歌
 - ・こーらす まつぼっくり 合唱
「お母さんお元気ですか」
指揮 大塚和子 ピアノ 及川慧子
 - ・みんなでうたう会
「見上げてごらん夜の星を」「与作」「ふるさと」「どこかで春が」など
リーダー檀美知生 指揮 大塚和子
ピアノ 及川慧子・上野華純
 - ・檀美知生 独唱
「離れていても」
独唱 檀美知生 ピアノ 及川慧子
 - ・合唱団ふきのとう 合唱
「雪が降る」「北風小僧の勘太郎」「めぐる春に」
指揮 檀美知生 ピアノ 上野華純
 - ・全体合唱
「おらあこがいい」
指揮 檀美知生 ピアノ 及川慧子
司会 村嶋由紀子・熊谷海音

* プログラムは変更あることを了解ください。

広田湾を一望できる歴史ある資料館で、天井の高い響きのいい室内会場で歌いましょう。

コンサート終了後、囲炉裏を囲んで交流会を行います。ご自由に参加ください。

主催 「私の好きなこの街」復興支援プロジェクト
リーダー 檀美知生 村嶋由紀子 連絡先 檀 090 (8526) 8131 大塚和子 0192 (55) 4045

阪神淡路大震災復興の灯りを東日本大震災復興の灯りへと歌声でつなぐコンサートです。
神戸、仙台、そして陸前高田の歌の好きな仲間が集まります。楽譜の読めない人も、
歌を知らない人も復興を願う心で歌い合いましょう。
子どもからお年寄りまで今年こそ復興の力強い歩みになることを誓いあって希望の灯に
この指とまれ！！

新年に復興を誓う

神戸から陸前高田へ



入場無料

日時

2012年1月15日（日）
開場 13時 開演13時半

会場

気仙大工左官伝承館内「希望の灯」碑
(陸前高田市小友町 TEL 0192-56-2911)
*凍結防止のため砂をまいていただきますが、どうぞお気をつけてご来館ください。

(題字 春山和樹)

檀美知生 村嶋由紀子

「希望の灯」交流コンサートへの呼びかけ

「私の好きなこの街」復興支援プロジェクト

リーダー 檀美知生 村嶋由紀子

陸前高田で被災された皆様、ひときわ寒さの染みいる年の瀬と、心よりお見舞を申し上げます。そして来年に寄せる復興への強い希望は、皆様の共通の大きな願いと推察いたします。

私たちもまた、17年前の1月17日に<阪神・淡路大震災>大被災地にて遭遇し、ひたすら元の姿に戻って欲しいとの切なる願いで必死に過ごした日々を思い出します。同時にその時ほど歌と仲間の温もりを求めたことはありませんでした。どんな場所でも皆と歌いたい、と切望しました。そして集まった仲間との歌声を通して、明日を生きる力を得て、潰れた街に帰っていました。被災地として中から力を蓄え、復興への一翼を担った音楽活動をやり抜くことができました。

東日本の被災地の、私たちにはなかった大津波と原発事故は復興への大きな妨げとなり、私たちの何倍もの苦しみを与えてることに胸の潰れる思いです。大切な方、大切な物を失われ、音楽の心が押しつぶされそうになられている方々もいらっしゃると思います。しかし私たちは、そんな時だからこそ音楽・歌声がどんなに心を癒し、どんなに勇気を引き出してくれるものかも信じています。皆様と被災の痛みを共有する思いで、音楽・歌で復興に役立ちたいと思っています。

今年、11月21日、関西の仲間を率いて陸前高田にて「私の好きなこの街」コンサートを開催いたしましたのも、その思いからです。幸い大好評を得、涙を流して喜んでいただくことができました。しかし私たち二人は、これが支援の第一歩ととらえ、さらなる復興支援の歩みを進めていきたいと思っています。今、知り合いになった皆様と、地元の合唱団の復活に協力するプロジェクトを組んでいきたいと思っています。

この12月に<阪神・淡路大震災>復興祈念の灯りが陸前高田に分灯され、「希望の灯」の碑が、「気仙大工左官 伝承館」内に設置されたことを知りました。

つきましてはそこで、阪神淡路大震災復興の灯りを東日本大震災復興の灯りへつなぐ、ささやかなコンサートを開催したいと思います。

このコンサートは、皆様歌い手であり、観客である楽しいものにしたいと思いますので、賛同いただける方々、どうか呼びかけ合ってご参加ください。



神戸から届けられ、点灯した「希望の灯り」=岩手県陸前高田市の気仙大工左官伝承館で2011年12月10日午後4時47分、小関勉撮影

阪神大震災の被災地・神戸市のガス灯「希望の灯り」の火が、管理運営するNPOが陸前高田市に援助物資を届けたのがきっかけで「分灯」が決まり、「気仙大工左官伝承館」に建立されたガス灯に昨年の暮れ点灯された。「この灯りには、試練をくぐり抜けてきた神戸市民の皆様の気持ちがこもっている。私たちは負けない。必ず、美しい陸前高田に戻していく」
(毎日新聞より・写真とも)

No.342 (3/4)

西島さんの写真あそび

「大きな古時計」

迎春・加齢おめでとう、今年もよろしく。

おじいさん大丈夫だよ！電話で 119 番、救急車がくるまで AED で愛の衝撃！

まだ動いています、大きな古時計



「左電話右 AED も従えて」